



# MSD15-30001/2 カラードフェンダー

取付・取扱要領書

この度はMODELLISTAカラードフェンダーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しく取り付け、取り扱いを実施してください。

★本商品は未登録車への取り付けはできません、取り付けは車両登録後に行ってください。

## ■品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	年式	備考
MSD15-30001-A0	プレシヤスホワイトパール(090)	クラウン	'22/7~	
MSD15-30001-C0	ブラック(202)			
MSD15-30002-NP	未塗装品			

・最新の適合情報はMODELLISTAカタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

※以下のMODELLISTA製品と同時装着する場合はカラードフェンダー(本製品)を先に取り付けてください。

- ・フロントスポイラー(MSD41-13001/2)
- ・サイドスカート(MSD44-30001/2)

以下のMODELLISTA製品と同時装着する場合はカラードフェンダー(本製品)を後に取り付けてください。

- ・リヤスカート(MSD43-30001/2)



## ■構成部品

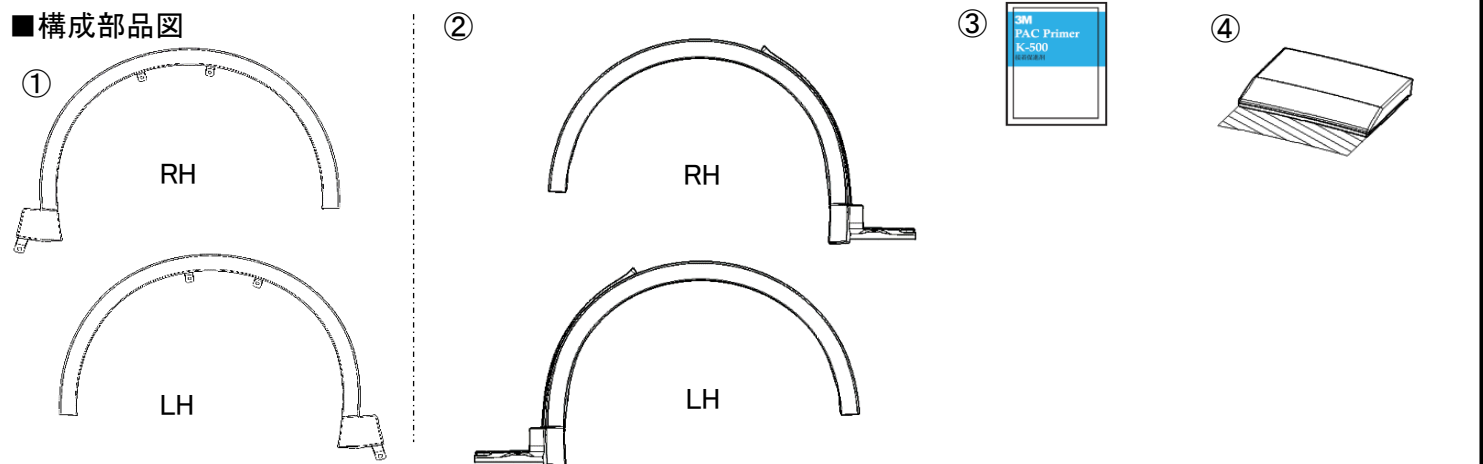
No.	品名	品番	数量	備考
①	フロントピース		RL各1	
②	リヤピース		RL各1	
③	PACプライマー	08867-00230	1	K-500
④	PAD		6	FR用

以下、MSD15-30002(未塗装品セット)のみに同梱

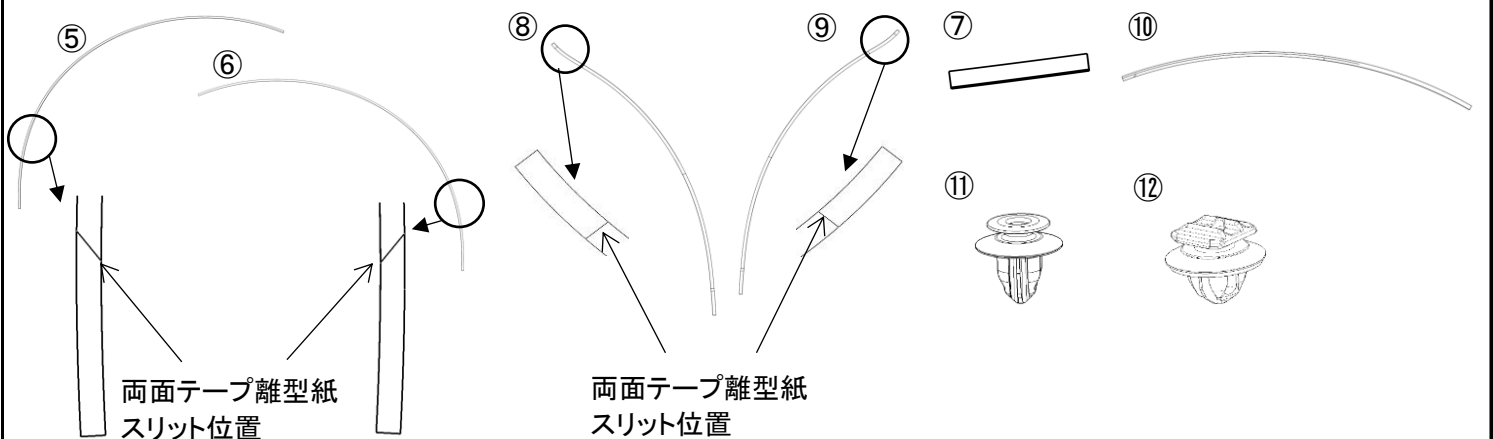
No.	品名	品番	数量	備考
⑤	モール No.1		1	FR右側用 L=1017mm
⑥	モール No.2		1	FR左側用 L=1017mm
⑦	モール No.3		2	FR用 L=42mm
⑧	モール No.4		1	RR右側用 L=607mm
⑨	モール No.5		1	RR左側用 L=607mm
⑩	モール No.6		2	RR用 L=450mm
⑪	CLIP A		14	
⑫	CLIP B		18	スポンジ付き

※開梱時に本体破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

### ■構成部品図



以下、MSD15-30002(未塗装品セット)のみに同梱



## 取り付け上のご注意(取り付け作業の方へ)

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。

### ⚠ 警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

### ⚠ 注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



### アドバイス

スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行っていただくこと

### ⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

### ⚠ 注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

### 脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、左記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂できず、浮き、剥がれの原因となります。

### 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取り付け24時間は、洗車や水(水拭き含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

### 未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要ですので、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起しますので70℃以下で乾燥させてください。

### 取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業時にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

## ■目次

- 1.表紙、品番・適合車種、構成部品表、構成部品図 .....1~2
- 2.取り付け上のご注意(取り付け作業の方へ).....3
- 3.目次、取り付けに必要な工具、保護具、消耗品、取付構成図 .....4
- 4.取り付け準備、取り付け要領 .....5~10
  - プロテクター有無による対応 .....8
    - プロテクター無の場合 .....9
    - プロテクター有の場合 .....10~11
- 5.取り付け完了後の点検、注意事項 .....11
- 6.未塗装品の取り扱いについて.....12~17

## ■取り付けに必要な工具

- ・一般工具・クリップリムーバー・保護メガネ・ニッパー
- ・軍手・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス・保護テープ・マスキングテープ

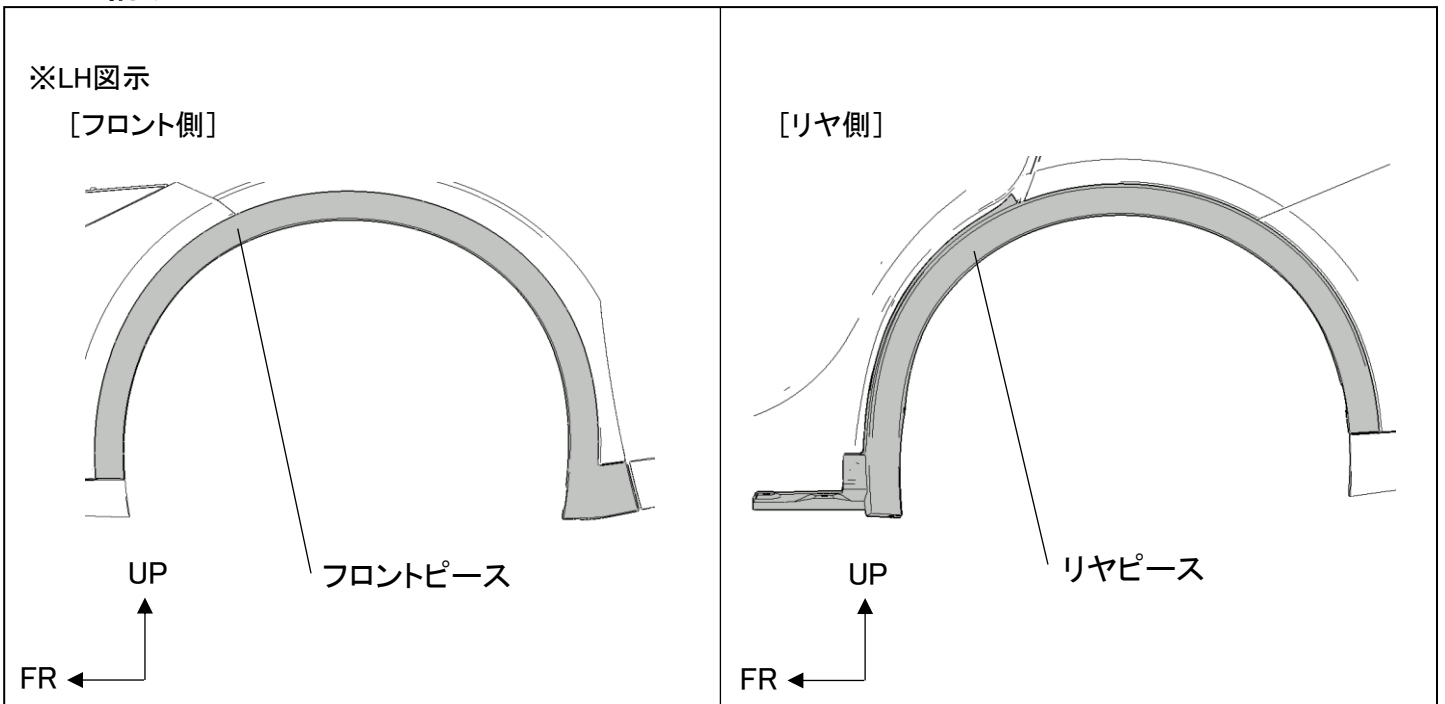
## ■保証について

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施いたします。(1年または20,000Km走行時のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はMODELLISTAパーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp>>

「保証について」をご覧ください。

## ■取付構成図



## ■ 取り付け準備、取り付け要領

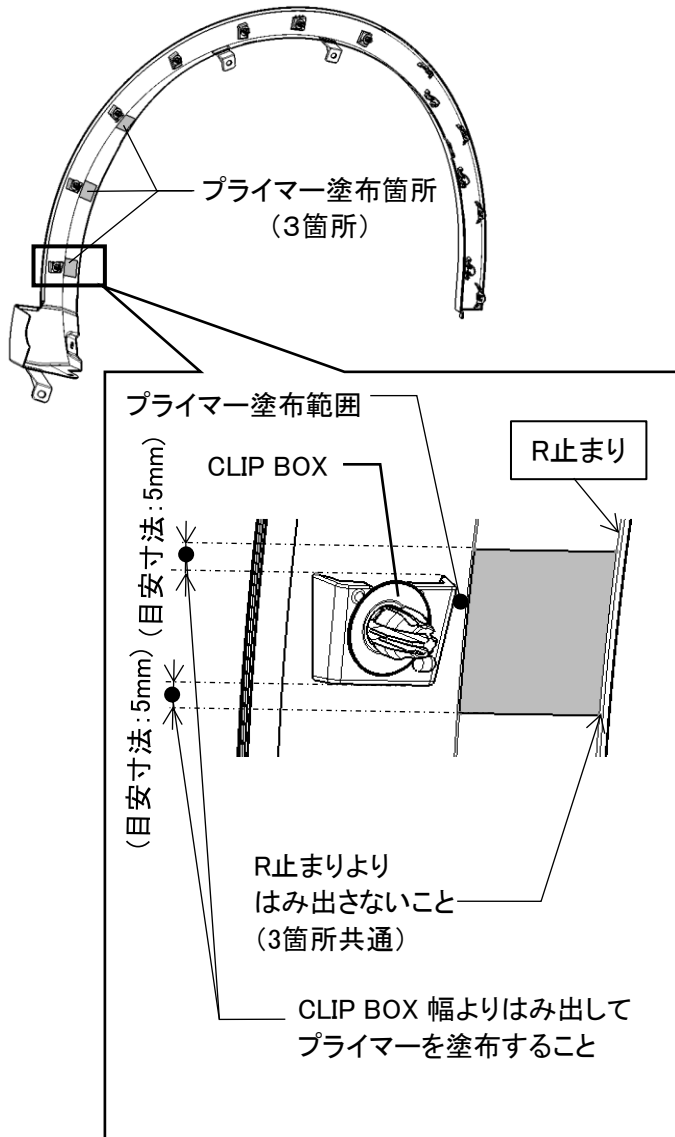
※本取り付け・取扱要領書は、LH側を示しておりますがRH側も同様に取付けてください。

### △ 注意：

本製品は車両の仕様や製造時期により作業が異なりますので、注意してください。(p8~p10参照)

### □ プライマーの塗布

※本工程は、フロントピースのみ実施してください。



1. 左図のようにPAD貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、PAD貼り付け部のみ③PACプライマーK500を塗布する。

### △ 注意：

プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。  
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

### 👉 アドバイス：

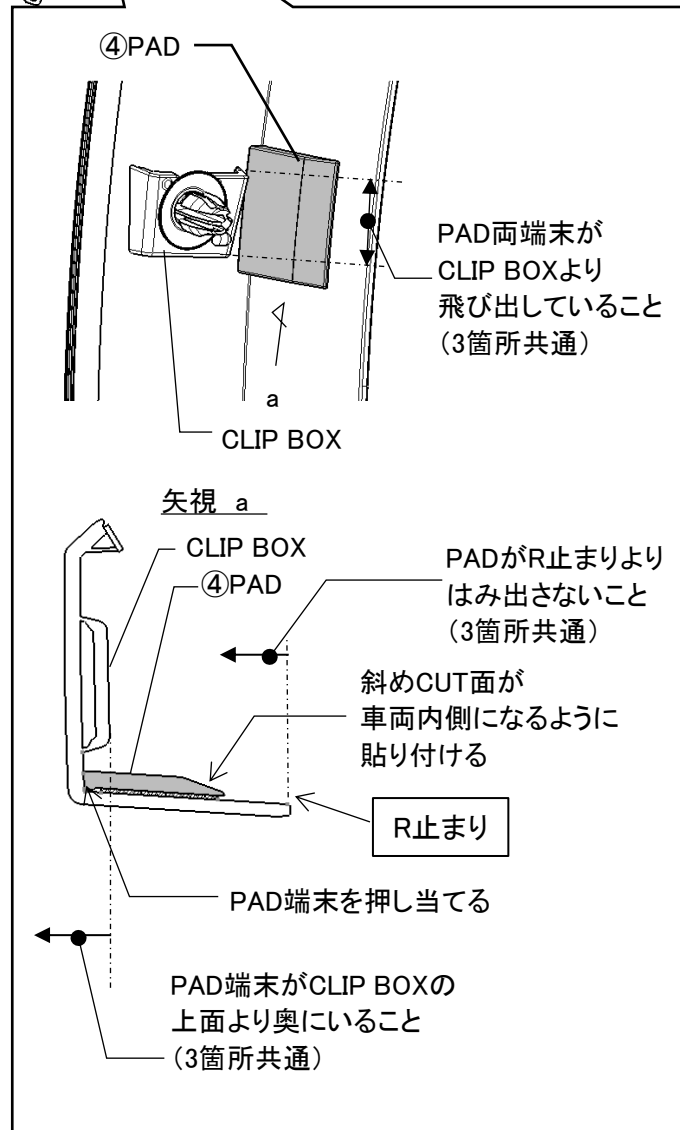
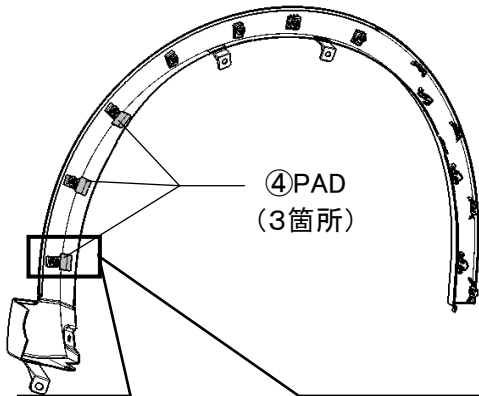
脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

### △ 注意：

脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

## □PADの貼り付け

※本工程は、フロントピースのみ実施してください。



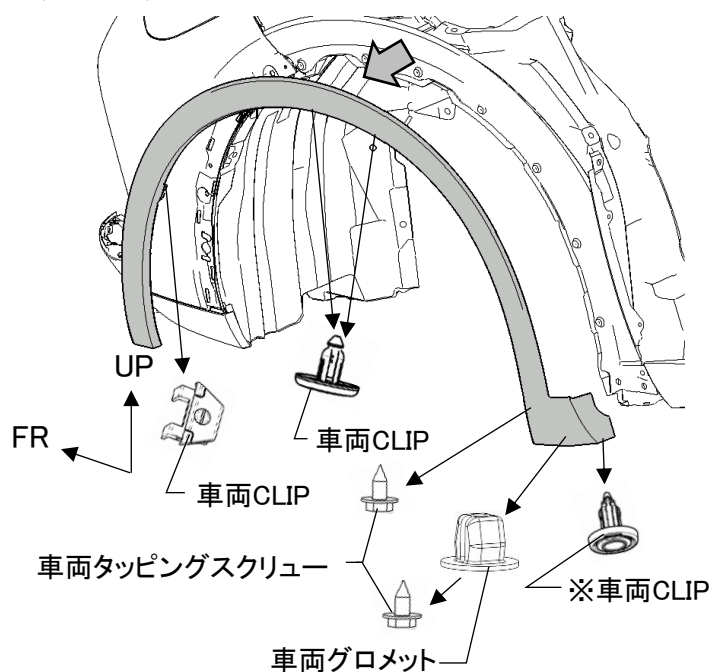
1. 左図のように①フロントピースに④PADの両面テープの離型紙を剥がし、図の貼り付け位置に貼り付け圧着する。

## ⚠注意:

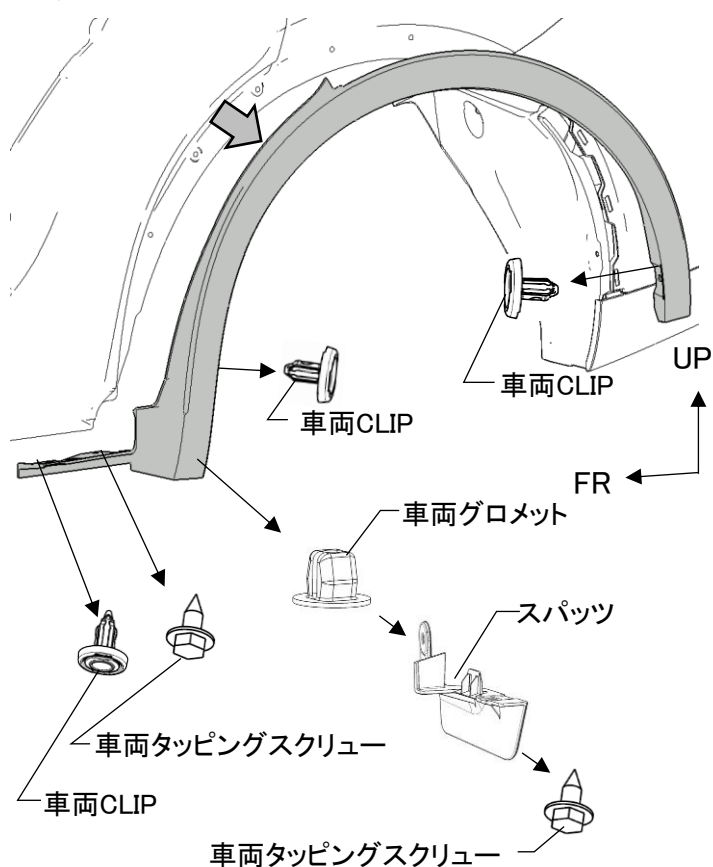
PADの貼り付け向きは斜めCUTの面が車両内側になるように貼り付けてください。貼り付け向きを誤るとフロントピースの浮きの原因となります。

## □取り付け準備

## &lt;フロント&gt;



## &lt;リヤ&gt;



## 車両フェンダーの取り外し

1.図のように該当車両の修理書に従い、フロントピース、リヤピース、スパッツを取り外す。

※印の車両CLIPは車両の仕様や製造時期により、フロントピースに取り付けていない場合がある。

詳細は次頁を参照。

## 👉 アドバイス :

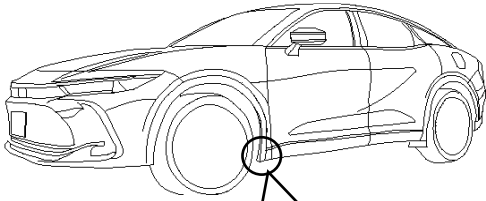
取り外したスパッツ、車両CLIP及び、車両タッピングスクリュー、車両グロメットは再使用しますので紛失しないようご注意ください。

## □プロテクター有無による対応

※車両の仕様や製造時期により車両にプロテクターが取り付けられている場合があります。

プロテクターの有無により取り付けの準備・作業が異なります。

※プロテクターの有無による工程の違いはフロントのみです。リヤピースの工程上に違いはありません。

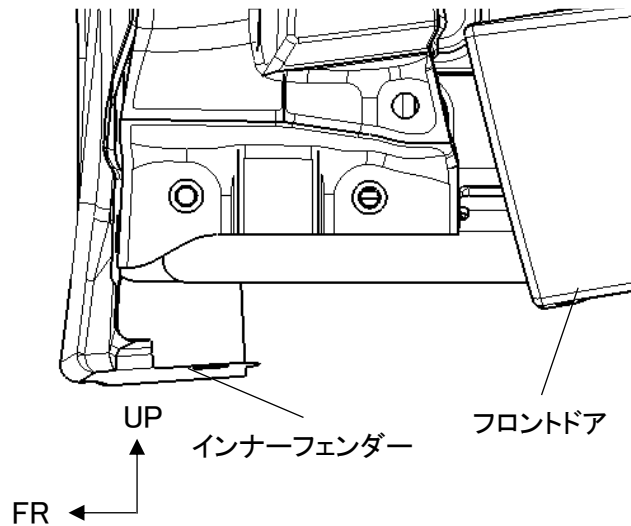


1.①フロントピースを取り外した車両のホイールハウス下部を確認する。(左図参照)

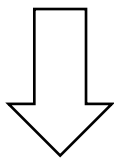
2.車両にプロテクター(黒色、発泡材)が取り付けいていた場合はp10の工程へ、取り付けいていない場合はp9の工程へ進む。

⚠注意:

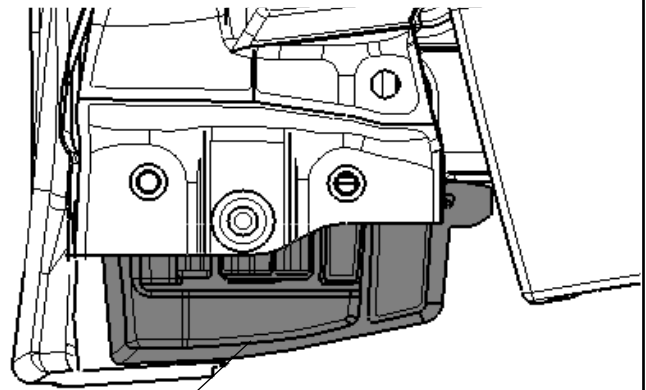
プロテクターの有無に対応した作業を行わないと車両に取り付けられない、またはカラードフェンダーフロントピースが浮きの原因となります。



プロテクター無し

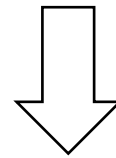


p9へ



プロテクター  
(黒色、発泡材)

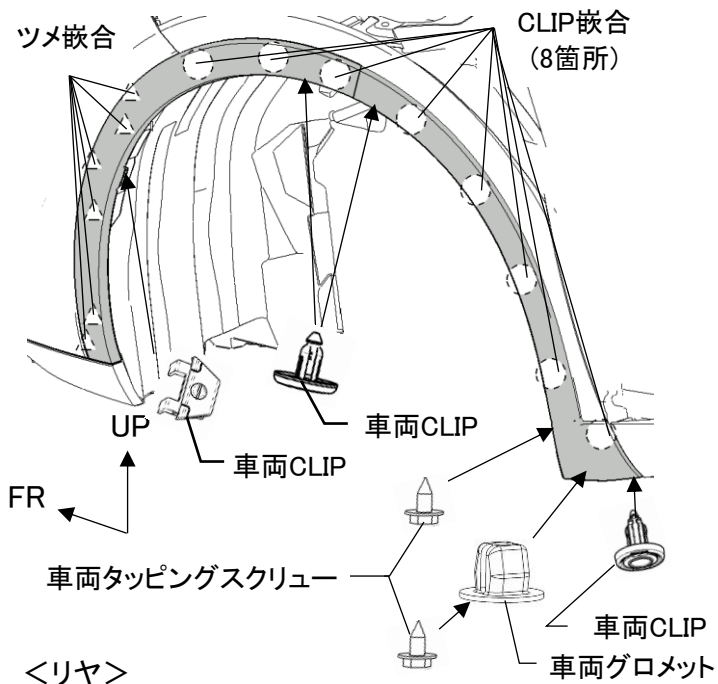
プロテクター有り



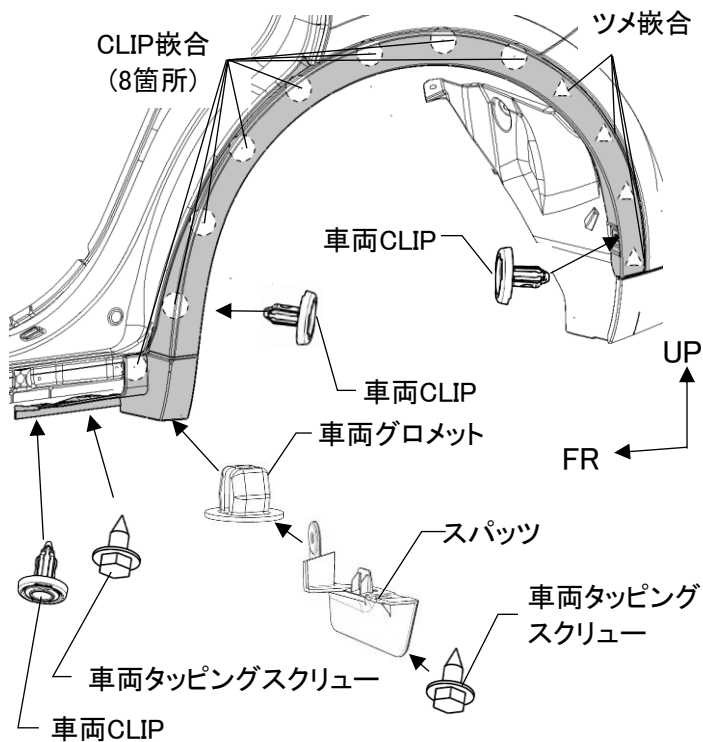
p10へ

## □取り付け要領

## &lt;フロント&gt;



## &lt;リヤ&gt;

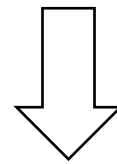


## フロントピースとリヤピースの取り付け

- ①フロントピースと②リヤピースを中央からクリップおよびツメを嵌合させ、車両CLIPと車両グロメット、車両タッピングスクリューを取り付ける。

## △注意:

全ての車両CLIPとツメを確実に嵌合させてください。車両CLIPとツメの嵌合が不十分な場合、浮きや剥がれの原因となります。



p11

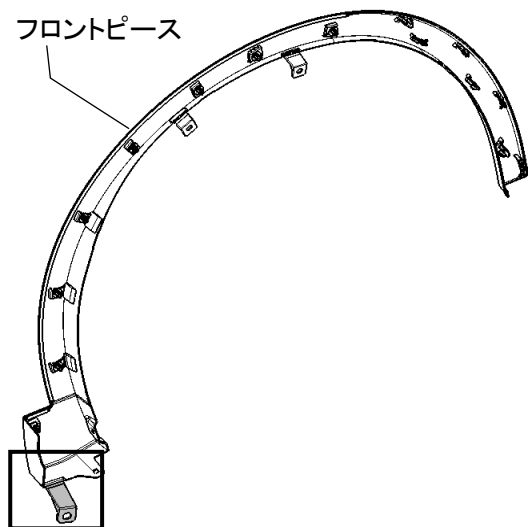
## ■取り付け完了後の点検・注意事項 へ

## □ヒンジの切断

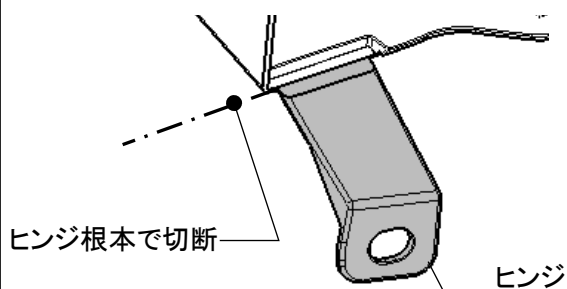
※本工程は、フロントピースのみ実施してください。

※本工程は、車両にプロテクターが有る場合のみ実施してください。

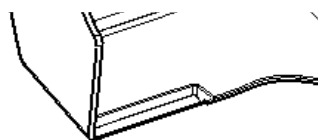
① フロントピース



ヒンジ切断位置



切断



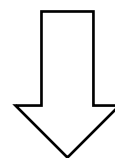
1. 左図のように①フロントピースのヒンジをニッパー等で切断する。

## ⚠注意：

車両にプロテクターが取り付けられている場合、必ずヒンジの切断を行ってください。切断しないとヒンジがプロテクターに干渉し取り付けできません。

## ⚠注意：

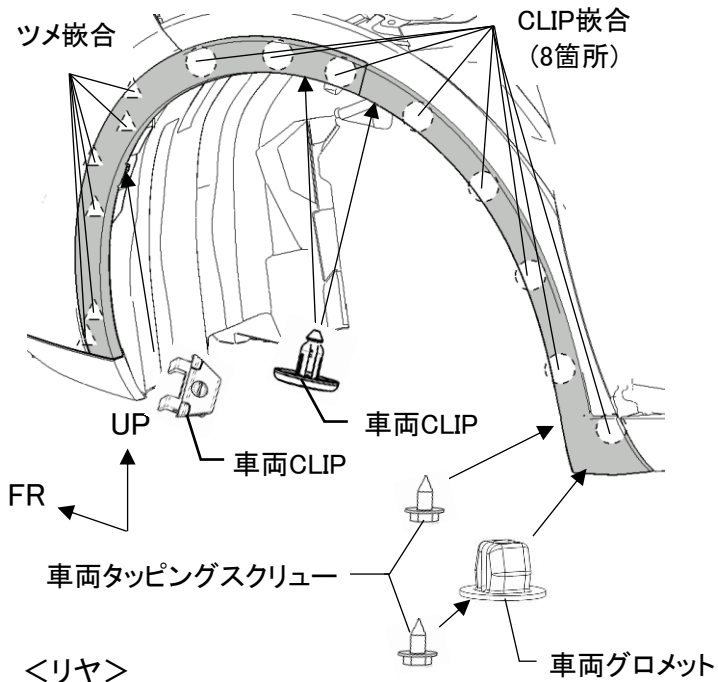
ケガをするおそれがありますので、ヒンジ切断後はバリ無きよう処理をしてください。



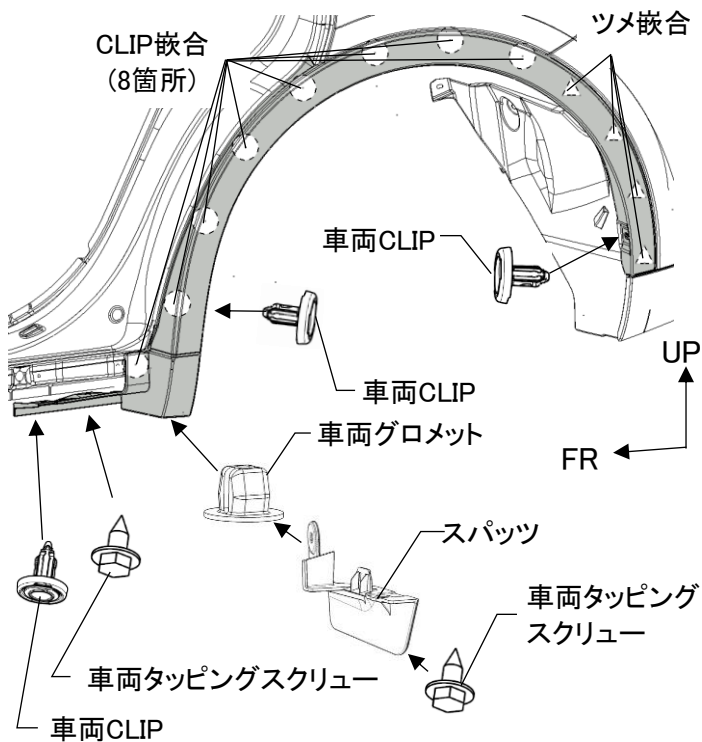
p11へ

## □取り付け要領

## &lt;フロント&gt;



## &lt;リヤ&gt;



## フロントピースとリヤピースの取り付け

- ①フロントピースと②リヤピースを中央からクリップおよびツメを嵌合させ、車両CLIPと車両グロメット、車両タッピングスクリューを取り付ける。

## ⚠ 注意:

全ての車両CLIPとツメを確実に嵌合させてください。車両CLIPとツメの嵌合が不十分な場合、浮きや剥がれの原因となります。

## ■取り付け完了後の点検・注意事項

- 1.製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
- 2.車両及びフロントピース/リヤピース回りに傷が付いていないことを確認してください。
- 3.本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。  
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

## ■未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品 (MSD15-30002-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。

下記要領に従い作業を行なってください。

⚠注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

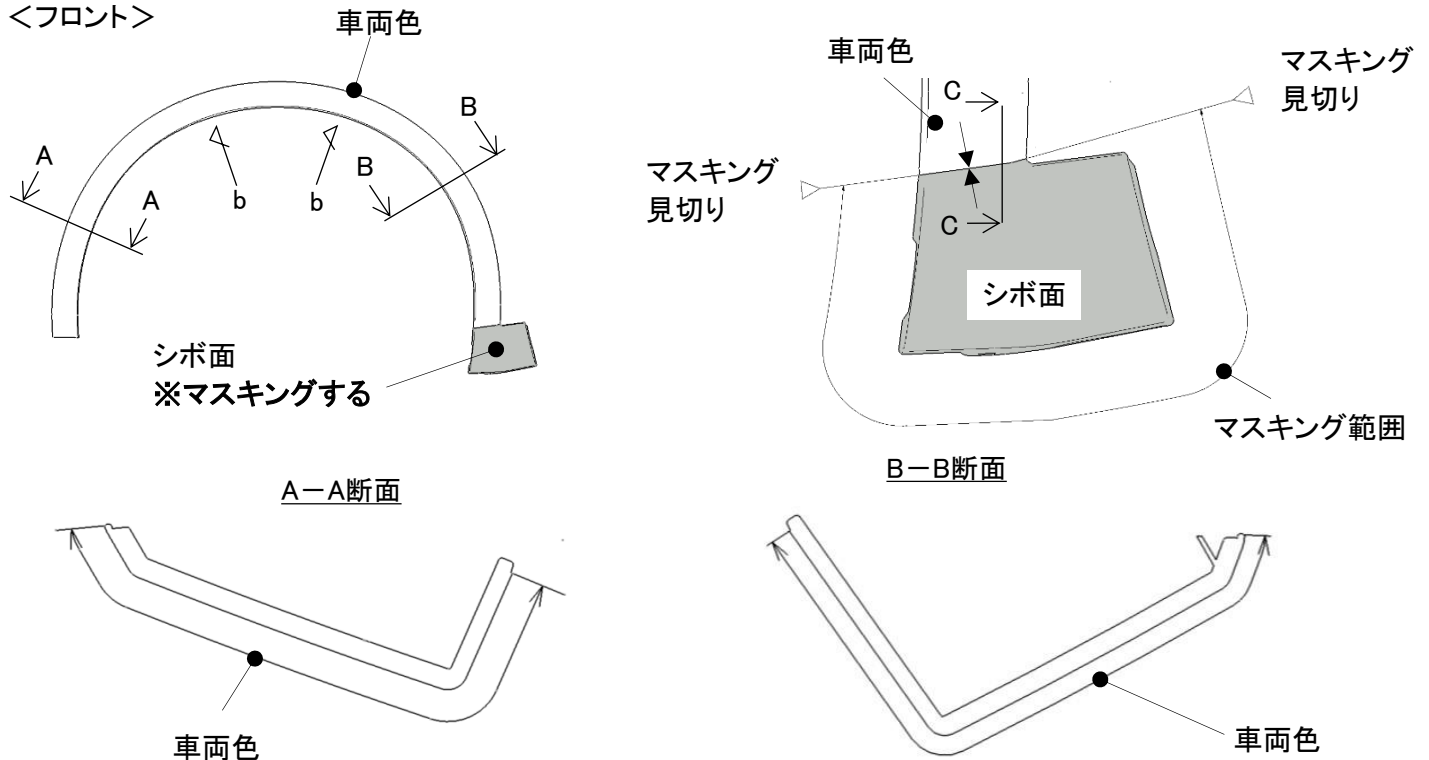
⚠注意：本製品の素地は、PP製です。乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

※本取り付け・取り付け要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

### □フロントピースの塗装

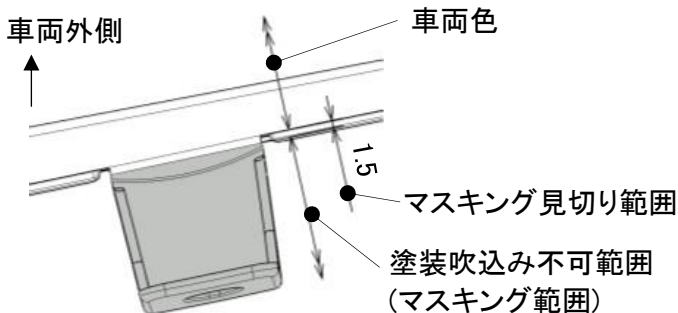
1. 下図のように①フロントピースを車両色で塗装する。

#### <フロント>

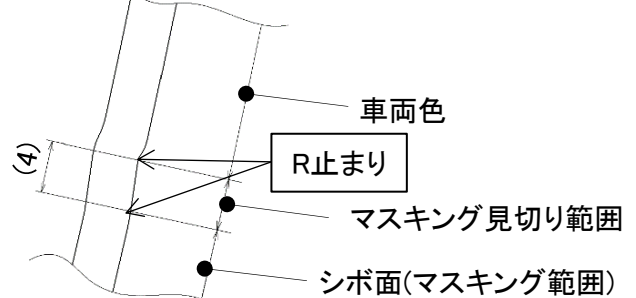


#### <マスキング範囲>

##### 矢視 b (取付ヒンジ部)



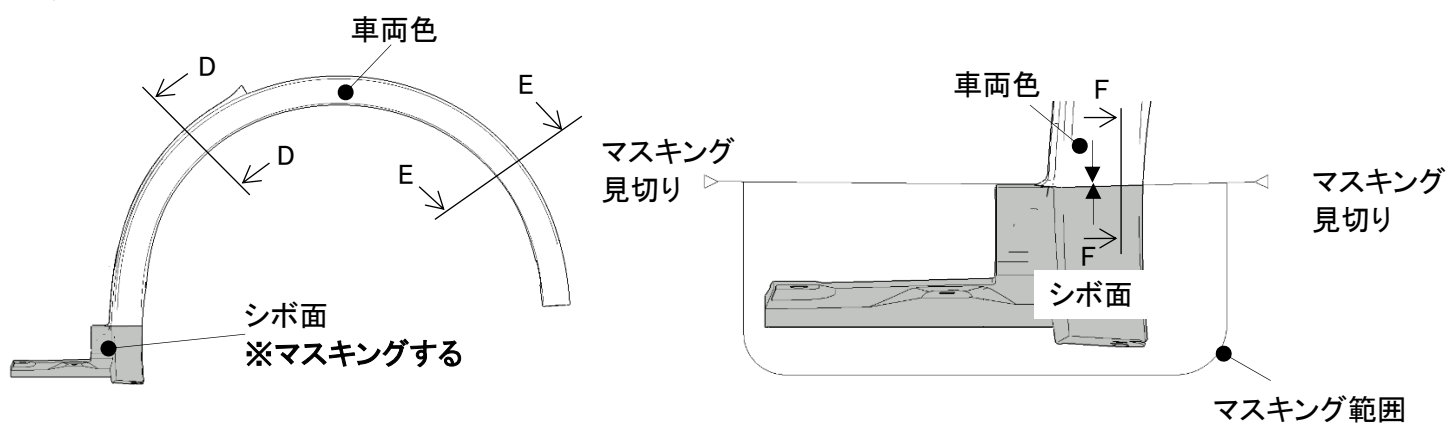
##### C-C断面



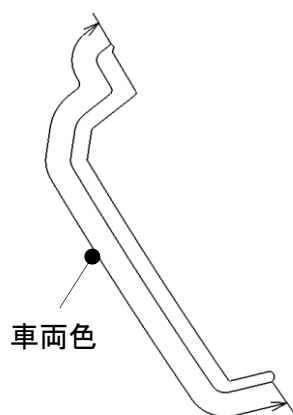
## □リヤピースの塗装

1. 下図のように②リヤピースを車両色で塗装する。

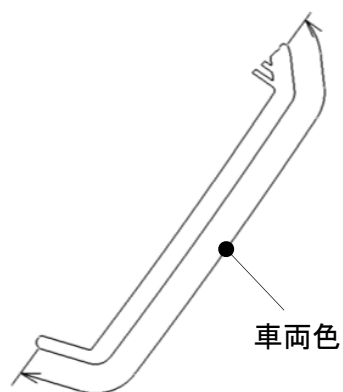
&lt;リヤ&gt;



D-D断面

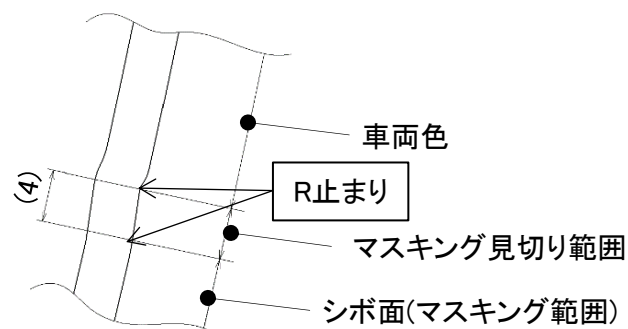


E-E断面



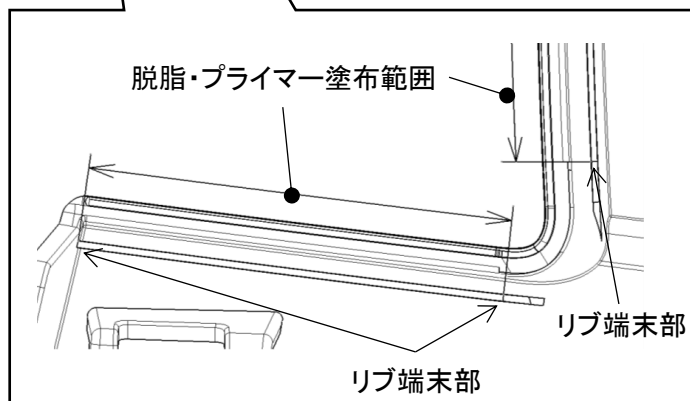
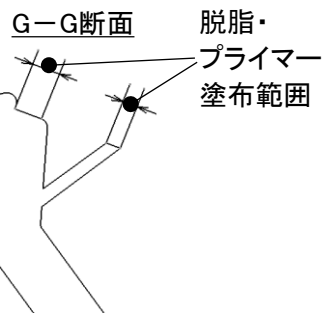
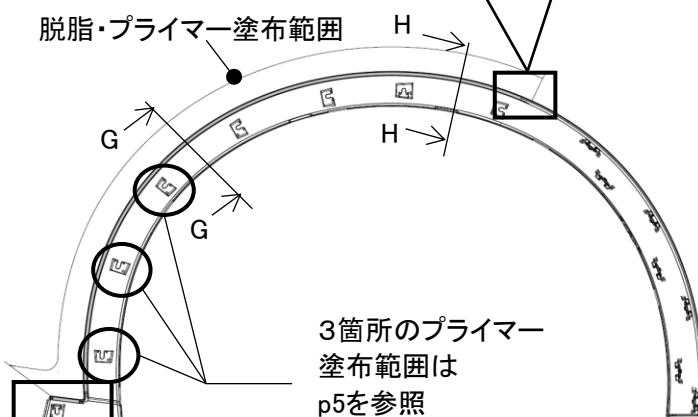
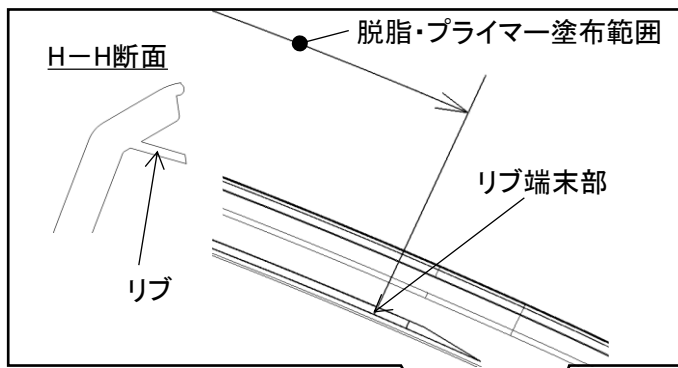
&lt;マスキング範囲&gt;

F-F断面



## □プライマーの塗布

&lt;フロント&gt;



1. 左図のようにモール・PAD貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、モール・PAD貼り付け部のみに③PACプライマーK500を塗布する。

## ⚠注意：

プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。  
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

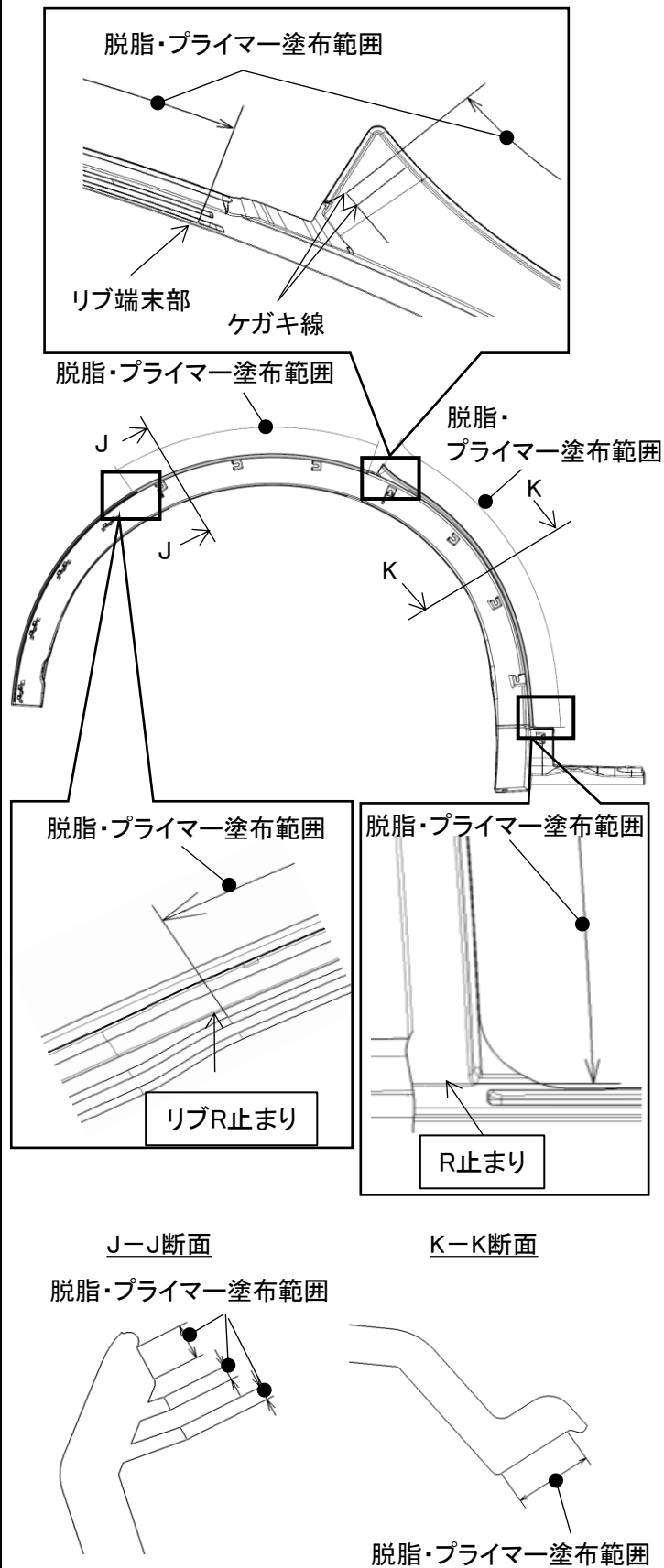
## 👉アドバイス：

脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

## ⚠注意：

脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

## &lt;リヤ&gt;



1. 左図のようにモールド貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、モールド貼り付け部のみ③PACプライマー-K500を塗布する

## ⚠ 注意 :

プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。  
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

## 👉 アドバイス :

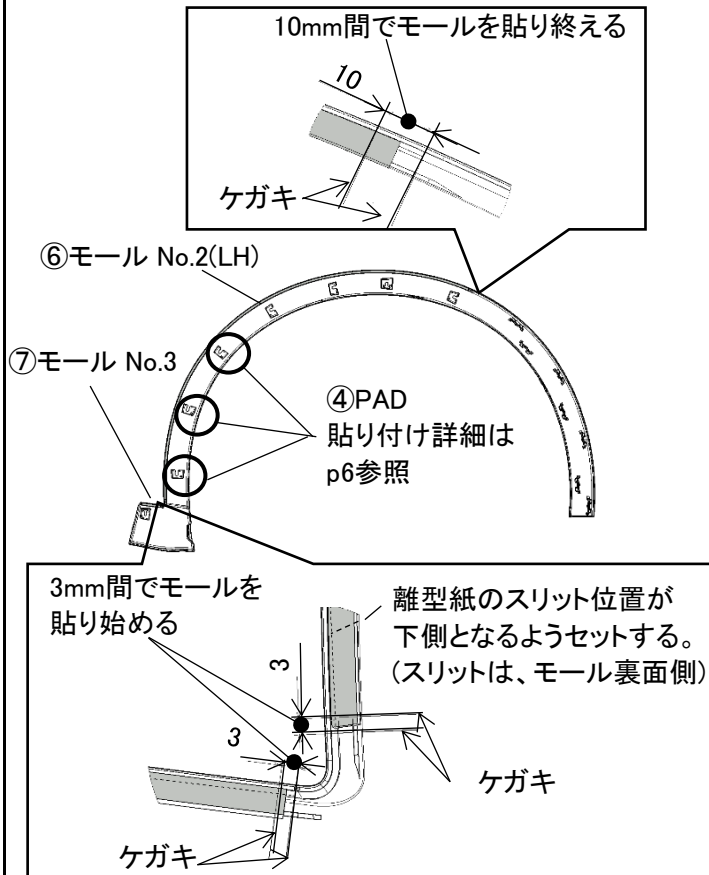
脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

## ⚠ 注意 :

脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

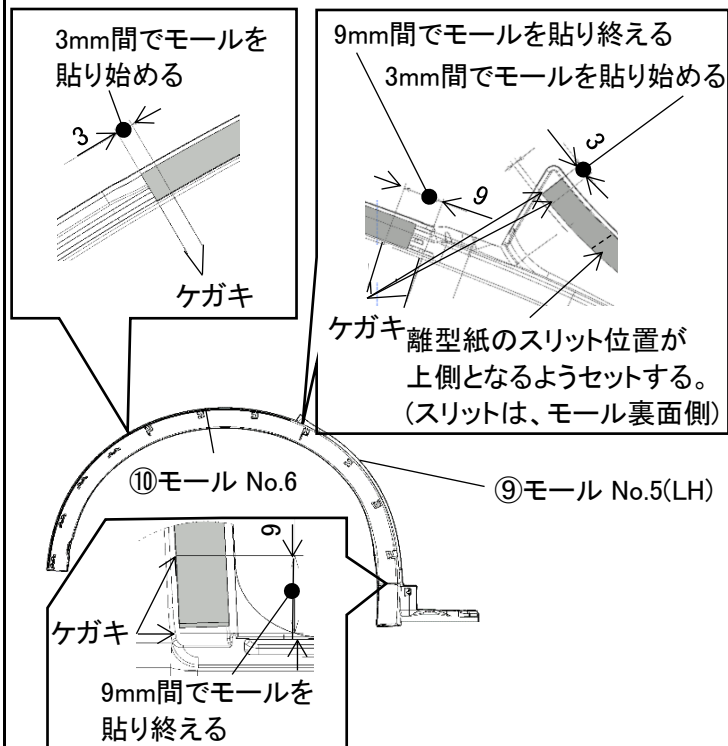
## □モール・PADの貼り付け

## &lt;フロント&gt;



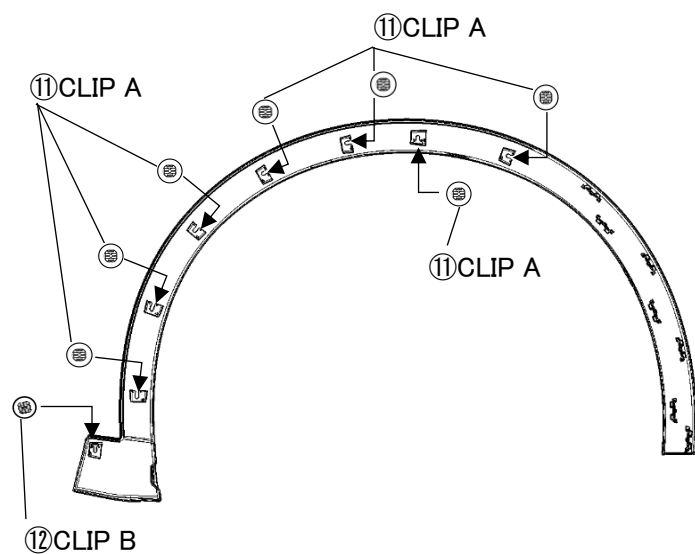
1. 左図のように①フロントピースと②リヤピースにモールの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。  
また①フロントピースには④PADを3箇所貼り付ける。  
(PADの貼り付け詳細はp6を参照)

## &lt;リヤ&gt;



## □CLIP取り付け

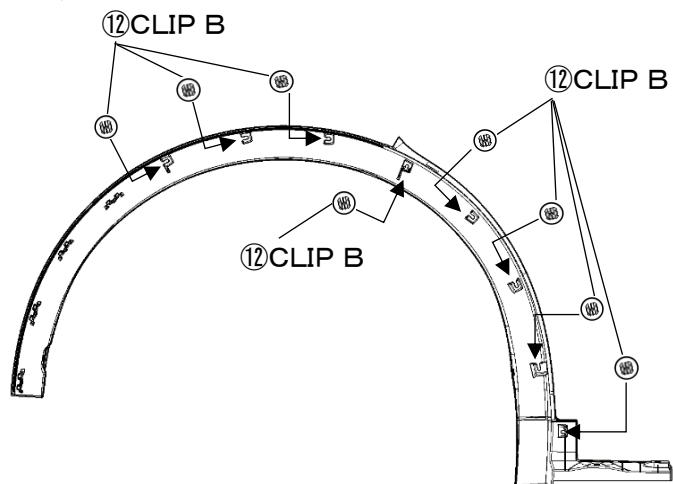
&lt;フロント&gt;



1.左図のように⑪CLIP Aと⑫CLIP Bを①フロントピースに取り付ける。

⑫CLIP Bを②リヤピースに取り付ける。

&lt;リヤ&gt;



株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

MODELLISTA商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

